

2016年9月16日

「COOL CHOICE」に連動した「ヤクルトCSRキャンペーン」を実施 ～公益財団法人オイスカの「子供の森」計画に寄付～

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、2016年6月に「COOL CHOICE^{※1}」に連動したヤクルトグループ全従事者向けの「ヤクルトCSRキャンペーン」を実施し、公益財団法人オイスカ^{※2}の「子供の森」計画^{※3}に28万円を寄付しました。

今回のキャンペーンは、政府主導の国民運動である「COOL CHOICE」に連動し、地球温暖化防止につながる「賢い選択」を促すスローガンを募集しました。併せて「COOL CHOICE」への賛同も募りました。その結果、13,757名が参加し、賛同者については環境省へ報告を行いました。応募作品のうち代表的な作品は、ポスターを制作のうえグループ全事業所に掲示して、従事者のCSR意識の啓発に活用しました。

さらに、参加者1名あたり20円として、参加者数に応じた28万円を、公益財団法人オイスカの「子供の森」計画の活動資金として寄付しました。寄付金は、インドネシア、フィリピン、中国・内モンゴル自治区の活動に活用されます。

また、スローガン募集に加えて、昨年引き続きヤクルトグループとして「グリーンウェイブ2016^{※4}」に参加し、全国13か所で植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者にCSR教育を行い、CSR意識の啓発を図っていきます。なお、今年度の「キャンペーン」の概要は下記のとおりです。



<COOL CHOICEスローガンの代表的な作品>

記

1. 名 称：「ヤクルトCSRキャンペーン」（1994年より実施し、今年で22回目）
2. 期 間：2016年6月1日～6月30日
3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実 施 内 容
 - (1) COOL CHOICE スローガンの募集・賛同者の募集
13,757名が参加（賛同者については環境省へ報告）
 - (2) オイスカ「子供の森」計画への寄付
 - ①寄付金額：28万円
 - ②算出方法：参加者1名あたり20円として参加者数13,757名に応じて算出。
 - (3) 企業としての「グリーンウェイブ2016」への参加
 - ①東京都国立市との「植樹」に関する協働活動
 - ②グループ内工場（12工場）で「植樹」を実施

- ※1：2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという政府が定めた目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す政府主導の国民運動。
- ※2：公益財団法人オイスカは、アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進している国際NGOです。
- ※3：「子供の森」計画は、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年に始まったこの活動は、36の国・地域の4,834の学校に広がっています（2016年3月末現在）。
- ※4：「グリーンウェイブ2016」は国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことです。国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

以 上